

千五沢ダム進捗状況



千五沢ダム再開発事業

千五沢ダム再開発事業は、かんがい専用ダムに洪水調節機能を付加するため、洪水吐き等の改築を行う事業です。

今年度より流入部のコンクリート打設が始まり、2月下旬よりは4月からのかんがい期に備え、貯水池水位回復を図っております。

現在の工事としては導流壁改造工・下流対策工を進めています。

【ダム全景】

平成31年3月末現在 事業進捗率 68.5%



撮影

かんがい期に備え、貯水池水位を回復を図りつつ下流部の工事を進めています。



今年度の流入部コンクリート打設は2月18日で完了しました。



現在はダム下流部の導流壁改造工事などを進めています。



ダムカードとは、ダムのことをより知ってもらうためにダムを訪れた方に配布しているカードです。

平成26年4月現在、全国で395ダム（統一デザインカード以外も含む）で配布されていて、福島県内では15ダムで配布しています。千五沢ダムが新たに配布するので、福島県は計16ダムになります。

DAM-DATA

所在地：福島県石川郡石川町大字母畑

河川名：阿武隈川水系北田川

型式：中央コア型アースダム

ゲート：ゲートレス（自然調節方式）

堰高・堰頂高：43m・178.5m

総貯水容量：1千3百万m³

管理者：福島県 東北農政局

本橋工完成：2014・2022年（予定）

URL：http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/41320w/dammainfoc.htm

ダム情報

ダムの存在で豊かな自然は、日本人の生活の根幹と認められ、歴史的背景には多くの思い出が刻まれています。

また、自然環境を保全・活用し、これらに活用される水は安心・安全の飲料水となり、国民生活の基盤となっています。

ご関心情報

千五沢ダムの再開発工事は、農業用のダムに初めて治水機能を付加します。治水には従来の構造物を大きく取り替えるなど、千五沢ダムは特別な取り組みを行っています。

農業用水を確保し、安心・安全の水を供給し、治水と治水の両立を図るための工事を実施しています。



千五沢ダム再開発事業

石川町大字母畑地内

千五沢ダム再開発事業は、石川郡石川町に昭和50年3月に完成したかんがい専用の千五沢ダムに治水機能を付加するための改築を行う事業です。

平成26年度に洪水吐改築工事に着手したところであり、平成33年度の完成を目指します。

ダムの目的

【洪水調節】

戦後最大の被害を与えた洪水（S41.9）に対して安全となるよう、ダムに水を貯め、洪水の調節を行います。

【かんがい用水の供給（現在の機能）】

母畑地区の1.985ha農地に対して、かんがい用水として最大3.088m³/sの取水を可能にします。

【河川流量の維持・既得取水の安定化】

北須川の水辺環境への影響を少なくするために、一定の河川流量を維持して河川環境を保全するとともに、沿川の既得取水の安定化を図るため安定した水の補給を行います。

ダムの効果



【昭和62年5月渇水状況】
渇水被害の解消

ダムの改築

洪水被害の軽減

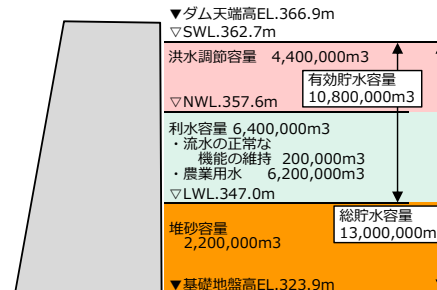


【平成10年8月出水状況】

現況（改修前）



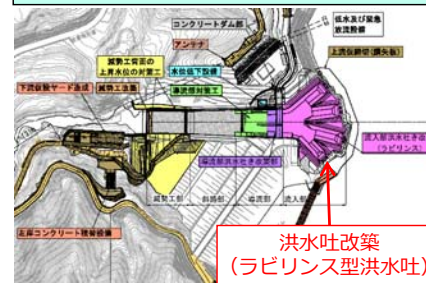
完成後のダム容量配分図



平成30年度の事業内容

- ・洪水吐部工
- ・水位低下設備工
- ・減勢工
- ・上流仮締切工
- ・濁水処理設備工
- ・水文調査等

改築平面図



洪水吐改築（ラビリンス型洪水吐）

将来計画（改修後）

